

学生エスコート

PERFECT BOOK

～最高の修学旅行を作る～

チーム名：_____

名前：_____

もくじ

1. 学生エスコートについて

- ① 組織のビジョン・ミッション
- ② どんな組織なのか
- ③ エスコートとは
- ④ エスコートだからこそ

中高生に残せる最高の価値とは

2. 修学旅行当日参加に向けて

- ① 当日までの流れ
- ② 準備・下見

3. 修学旅行当日のポイント

- ① アイスブレイク
- ② エスコート中
- ③ 企業訪問がある場合
- ④ お別れ
- ⑤ 振り返り

おわりに

1. 学生エスコートについて

① 組織のビジョン・ミッション

Mission

心で対話し、一人ひとりに革命を。そして、修学旅行に革命を。

Vision

「きっかけ」が循環する世界をつくる

→エスコートした中高生の人生に、何かしらの「きっかけ」を与えてあげたい。

Value (Who we are?)

- ・創りたいモノ、コトを創ることが当たり前のひとたち
- ・失敗を許容するひとたち(挑戦しなければ失敗はない)
- ・「らしく」を大切にするひとたち(背伸びしない、ありのまま)
- ・「人のために」を本気で考えるひとたち

Why (大学生にとっての関わる意味)

- ・「相手に合わせる」コミュニケーションの本質的スキル
- ・1日を豊かに過ごすことのできる企画力
- ・自分への気づき、感謝で溢れる時間
- ・誰とやるか? が大切 心地いい仲間
- ・誰かの役に立つという経験

② どんな組織なのか

地方から東京に来る修学旅行生に対し、
大学生が一日同行することで、従来の（遊び中心の）修学旅行
とは一線を画し、キャリアを考える深いきっかけを提供する。



「従来の修学旅行に革命を起こす」

具体的には...

①社会に出ていくことを意識しながら、
日々学ぶ東京近郊の大学に通う大学生と触れ合うことで、
修学旅行生に将来のことを深く考える良い機会、影響を与える。

②そんな学生エスコートを通じて、
大学生側も自分の想いや意志を表現することでお互いに成長し、
自らを見つめ直す機会となる。



修学旅行生のことを第一に考えながら、
その中で大学生一人一人がやりたいことを実現し、
成長、学習し続ける組織

③ エスコートとは

「ガイドではなくあくまでエスコート」

として

「最高の1日をデザインする」

～引き連れるではなく、一緒に楽しむ～

学生エスコートの特徴

①「ちょっぴり年上」な大学生だからこそ親しみやすく、対話しながら歩ける

②生徒の計画に学生が渾身の楽しみ・アクティビティをプラスすることで充実した時間に

③一人一人の生徒に寄り添い、生徒の良さを引き出し、成長を促す

注意事項

(ア) 絶対に守ってほしい3つのモットー

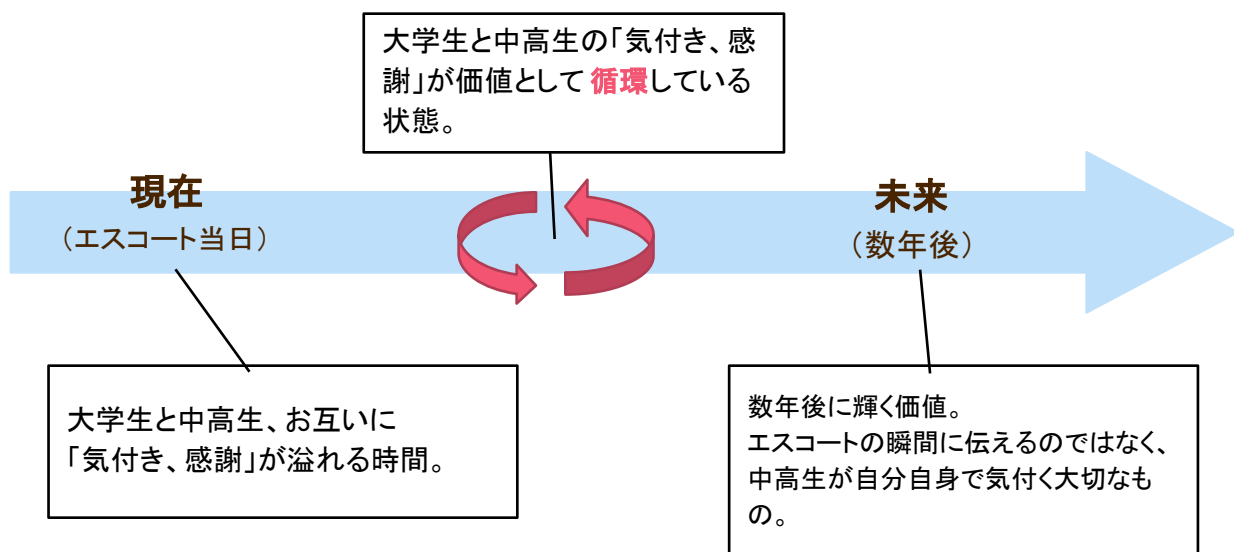
- ① 安全ルールの絶対遵守
- ② 主役は生徒、エンターテイナーに徹する
- ③ 一人一人に目を配る

(イ) 生徒との連絡先の交換はしないでください。

また、生徒が写った写真をSNSに投稿しないでください。

④ エスコートだからこそ 中高生に残せる最高の価値とは

<3つの時間軸から見た価値>



『価値の循環』とは...

大学生が1度のエスコートから学んだことが、
次のエスコートに活かされるという循環。
生が「学生エスコート」に興味を持ち、
エスコートに参加するという循環。

中高
数年後エ

では、当日どうすればいいのか？

大学生一人一人が今までの人生(ストーリー)から学んだ大切なことを、中高生に伝えてあげることができれば、
中高生の人生の選択肢が広がるのではないだろうか。

価値観をすり合わせ、背伸びせず(ありのままで)、
中高生と心で対話する



失敗してもいい、ありのままでいいという**勇氣**を与える



中高生の**人生の選択肢**を増やしてあげる



2. 修学旅行参加当日に向けて

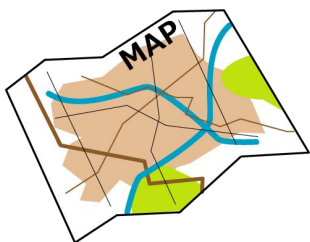
① 当日までの流れ

エスコートスタッフとの MTG (初参加の場合のみ)
チームリーダー(スタッフ)との MTG (参加2回目以降)

担当の班決め



下見・コースづくり



電話研修

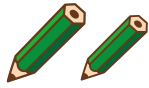


当日

振り返り(当日エスコート後に)



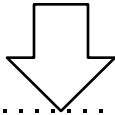
※当日1~2週間前に直前研修がある場合も。



コース作り!!



集合時間：
集合場所：
最寄駅：



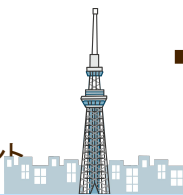
コースを
記入しよう!

memo

集合時間：
集合場所：
最寄駅：

当日

のポイント



下見

のポイント

最初に心をガツンと掴もう！
自己紹介・アイスブレイクタイム！！！！😊

移動は電車が基本。
交通ルールをしっかり教えてあげよう。
混んだりする場合もあるので注意。

ランチタイムだと店が満員で入れない場合も・・・
臨機応変に。
公園で弁当なども。

エンターテインメント性をもたせてあげよう！
例：いい写コンテスト
グリコ

歩き疲れてくるかも。
こまめに休憩をとろう！

写真や動画をたくさん撮ろう！
エスコートも一緒に。
看板など入ると◎。

時間に余裕を持った行動を！
お別れが名残惜しい。。。
Thanks カードを渡そう！

集合

遅刻しない工夫を！
(例：モニコしてもらう)

販売機の位置・トイレの位置
出入り口など確認しておこう。

見学場所

開店時間に注意！見学場所の
知識もネットで蓄えられると
GOOD！！

お昼
ごはん

何軒か候補を準備しよう。

見学場所

所要時間・混み具合・お土産屋
さんなどをチェック。

見学場所

休憩できる場所も確認を。

解散場所

歩く速度はゆっくりで想定を。
余裕のある計画を立てよう！

② 準備・下見

- ・**当日の朝に遅刻しない工夫を。**(例: モニコしてもらう)
- ・**券売機の位置・トイレの位置・出入口など確認**しておこう。
→生徒の中には切符を購入する生徒もいます。
そのことも頭に入れて計画を立てましょう。
- ・**開店時間に注意!** 見学場所の知識もネットで蓄えられるとGOOD
- ・**お昼ご飯**は何軒か候補を準備しよう。
- ・**所要時間、混み具合、お土産屋さん**などをチェック。
→込み具合は曜日によっても異なります。
(当日は**平日**であることが多いです。
休日に下見をする際は気を付けましょう。)
- ・**休憩**できる場所も確認を。
→中高生は大学生が思うほど体力があるわけではありません。
翌日以降の修学旅行の予定も頭に入れて、休憩は大目に
取るといいでしょう。
- ・**歩く速度**はゆっくりで想定を。余裕のある計画を立てよう!
- ・周囲の人になるべく迷惑にならないよう、
その場で守るべき**最低限のマナー**をチェックしておこう!
当日は、**予期せぬこと**が必ず起こります。
冷静に対処できるよう、**選択肢をいくつか用意**しておきましょう。



中高生の安全が第一です

そのことを念頭に置いて、
本番を想定した下見を心掛けましょう。

※下見をして、疑問点や不安に思うことがあれば、
各リーダーやほかのメンバーに聞いて解決しましょう!

3. 修学旅行当日のポイント

① アイスブレイク

・その日のテーマやルールの共有

→「今日はめっちゃ笑う日!」「いい写コンテスト」など。

・用意したMAPを配布して1日のイメージを共有

→班として意識を持って行動できる。

・最初に盛り上がれると1日の雰囲気良くなる

→他己紹介、生徒と自分のキャラ、呼び名の決定などを通じて雰囲気を良くする。

→その日の主役は生徒だが、アイスブレイクではエスコートが積極的に盛り上げる。

・東京を散策するにあたってのマナーを事前に教えてあげる

→電車内(満員電車の乗り降り)やエスカレーター(左が止まる)など。

・生徒一人一人の今日の楽しみなポイント、モチベーションを聞いておく。

→それを中心にエスコートをアレンジ。

・生徒の趣味、自分との共通点を覚えておく

→エスコート中の会話に活かせる。

・アレルギーがあるかないかの確認

・自分のキャラ設定をしてもらう

→おじさんおばさんキャラだと接しやすい。(笑)

・アイスブレイクが上手いかなかったとしても、

生徒達がどうしたら心から楽しめるかを本気で考えて行動すれば自ずと心を開いてくれる。

→中には“共通の敵”を作って心を開かせた事例もありました!

・どんなお土産を誰に買いたいのかを聞いておくと、

充実したお土産タイムが作れる。

② エスコート中

- ・移動は電車が基本。混雑や車内トラブルに巻き込まれないよう、予め中高生に車内マナーを教えてあげましょう。

→あまりにも電車が混んでいる場合は、人の流れに逆らわず、降りる駅でなくても一旦降りることもありますよね。そういったことも予め教えてあげるとトラブルを防げます。

→座席に座る際は、下車時に忘れ物の確認をしましょう。以前生徒が財布を車内に忘れてしまったことがありました。

- ・電車内以外でも守るべきマナーはきちんと教えてあげましょう。

→関東と関西では、エスカレーターの歩行は左右逆です。そういった細かいところにも気を配ってあげましょう。

- ・ランチタイムだと店が満員で入れない時も。臨機応変に。公園でお弁当なども○

- ・エンターテインメント性を持たせてみよう！

(例：良い写真コンテスト、もしツアルーレット、グリコ)

- ・歩き疲れてくるかも。こまめに休憩を取ろう！

→生徒のかばんは予想以上に重い場合があります。

- ・写真や動画をたくさん撮ろう！エスコートも一緒に。看板などいれると◎

→当日は学校の先生方も含めた『LiveLINE』が設置されるので、報告も含めて楽しそうな写真が撮れると良いです！◎

- ・時間に余裕を持った行動を！

→もしもトラブルや遅刻があれば、迅速に『LiveLINE』や電話などで担当の先生や藤井さん、竹田さんに連絡してください。

→特に**企業訪問**では**時間を必ず厳守**してください。

- ・生徒によっては大学進学を真面目に考えている子も。そんな生徒の相談にも乗れると
なおよしです！

→中には遠慮してなかなか自分から話しかけられない生徒も。

その場合にも、その子の気持ちや雰囲気を感じ取ってあげることが大事。

- ・中にはなかなか心を開いてくれない生徒もいるかもしれません。そんなときでも
背伸びせず、目の前の生徒たちが楽しむことを最優先させてあげて下さい！

- ・お手洗いは行けるときに行っておくといいです！

- ・お土産を買うスポット、時間は予め確保しておきましょう！

→朝の時点で中高生に、誰に何をかう予定か聞いておくと◎

③ 企業訪問がある場合

目的:

「情熱を持って働く人」に出会い、その思いに触れること
により、生徒のキャリアを考えるきっかけをつくる。

1. 事前準備

1 企業を知る

事前に訪問する企業のWebサイトを一通り閲覧しましょう。

2 企業について興味や疑問を持つ

訪問する企業について、エスコートする中高生に興味を持たせるため、その企業の魅力をひとことで語れるようにしておきましょう。

2. エスコート当日の流れ

1 企業に行く前に

中高生とミーティングの時間を持つ

→ 興味を持たせる

→ 質問事項を考えさせる

(一人2つ程度、ポストイットに書かせるといいかも)

2 企業についたら

約束の時間に絶対に遅れないこと(早すぎるのも迷惑になるので、5分前に受付するイメージ)

・受付で、学校名を伝え、担当者の名前を伝える。

・ 流れの確認

① 挨拶をする「学校名」「自分の名前」「生徒からの自己紹介」

「よろしくお願いします。」※キャストから名刺を渡し、

担当してくれた方の名刺をいただく。(名刺はこちらで用意します。)

&Natuerから後日メールでお礼をしたいため名刺は最後に回収します。)

② 流れの確認(企業によって違うので)

パターン① 企業側がプログラムを用意していてファシリテーションも全てお任せ

パターン② こちらでファシリテーションをし、進行するパターン

→ 企業側から簡単に説明をしてもらい、生徒からのインタビュー

③ お礼の挨拶

3 訪問終了後

生徒と振り返りのミーティングをする

→実際に訪問してみてどう感じたかなど、気づきや発見、感想を言語化する場を設ける。

3. 質問例

①担当してくれた方は、なぜこの会社で働こうと思ったのか、
そのきっかけは何か？

②実際にやってみてどうか、やりがいや苦労

③ビジョンや目標はなにか

④具体的な仕事の内容「入社してから、退勤するまで、
どんな一日を過ごしているのか」

⑤これまでの成果、今後の課題について

⑥この仕事をするにあたって求められる能力やスキル

⑦将来、この会社に入社したいと思った時に、
今からどんな準備をしておけばいいか

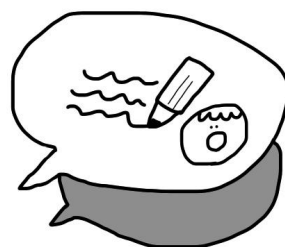
⑧担当してくださった方にとって「働くとは／仕事とはなにか？」

④ お別れ

いよいよ中高生ともお別れの時間です。

各班5分ほど時間をとって、

- ・今日1日何を学んだか
- ・何がいちばん印象に残ったか、楽しかったか



などを話したり、

- ・大学生から中高生に伝えたいこと
- ・中高生から大学生に聞きたいこと



について話したり、

- ・みんなで集合写真や動画を
- ・個別に一緒に写真を撮る



撮ったりして思い出作りをするなど…

▶各班思い思いに最後の時間を楽しんでください！



エスコートは一期一会。
当した中高生たちとは
度と会えないかもしれません。

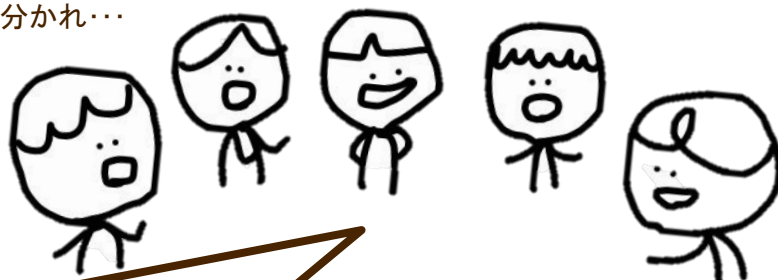
残りの時間を大切にしましょう。



⑤ 振り返り

東京学生エスコートでは、毎回エスコート終了後（当日解散後）にファミレス等で任意参加の振り返りを行っています。

5, 6人に分かれ…



Keep

やってみてよかったこと

Problem

困ったこと、準備が足りなかったこと、うまくいかなかったこと

Try

次回改善すべきこと、やったほうがいいこと

以上の3点を主体に、
当日にエスコートに参加した大学生で話し合う時間になります。

▶決して形式ばったものではなく、
その日の打ち上げ兼懇親会のようなフラットな雰囲気で行います！

気軽に参加していただけると嬉しいです！



おわりに

東京学生エスコートのマニュアルは以上になりますが、エスコートはこのマニュアルだけでは完成しません。

あなたの想いややりたいことを反映させて初めて、“学生エスコート”になります。

また、組織に関して、このマニュアルに関して、当日に関して、何か少しでもわからないことがありましたら、

各リーダーやプロマネ、学生代表東方、藤井さん、竹田さんをはじめ、学生エスコートに携わる全ての人に、誰でもいいので

まず質問してみてください。

そこから生まれる会話こそが、学生エスコートをより良いものにしていきます。

東京学生エスコートは、あなたがやりたいことを実現できる場所です。

「こうしたい！」「こんなことをやってみたい！」

「運営をしてみたい！」

など、やりたいことがあれば何でも相談してください。

一緒に素敵なものを創っていきましょう！！

